

第三者評価結果入力シート（母子生活支援施設）

種別	母子生活支援施設
----	----------

第三者評価機関名	福祉サービス評価センターさが
----------	----------------

評価調査者研修了番号	S25203
	SK2019022

施設名等	
名称：	双光園
施設長氏名：	徳田 一敏
定員：	10名（9世帯）
所在地(都道府県)：	佐賀県
所在地(市町村以下)：	唐津市二太子3丁目9番10号
T E L：	0955-74-1184
U R L：	
【施設の概要】	
開設年月日	1940/6/29
経営法人・設置主体（法人名等）：	唐津市
職員数 常勤職員：	4名
職員数 非常勤職員：	5名
有資格職員の名称（ア）	母子支援員
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（イ）	少年指導員
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（ウ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（エ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（オ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	9室
施設設備の概要（イ）設備等：	学習室
施設設備の概要（ウ）：	集会室
施設設備の概要（エ）：	静養室

理念・基本方針	<p>私たちはよりよい環境をつくり、子どもたちを幸せにまた健全に育てるため、次の項目を基本理念といたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．私たちの子どもが皆健やかに育つよう家庭を安定させ、生活を高めるよう努めます。 2．私たちは、よりよい共同生活を送るためにお互いの家庭の持味を尊重しながら助け合い協力していくよう努めます。 3．私たちは、社会の一員であり、地域の一員であることを自覚し独立して生活する日のために準備をしていきます。
----------------	--

施設の特徴的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭りやクリスマスなど各種季節の行事を、職員、入所者全員で行う。 ・共同浴場であることから、浴場の清掃は毎日入所者（世帯）が当番制で毎日行う。 ・入所者自身で居住する2，3階の廊下、階段など当番を決めて週2，3回清掃する。 ・地域との交流を兼ねて、年6回程度隣接する児童公園の清掃活動を行う。 ・子供料理教室や親子料理教室を開催し、入所者同士が交流を深める場を提供する。
------------------	---

第三者評価の受審状況	
評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2020/10/1
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2021/1/8
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度

総評

【特に評価の高い点】

母子と職員、職員間で日頃から積極的にコミュニケーションが図られ、情報交換や信頼関係の構築に力を入れられている。さらには母親による自治会や子どもたちによる児童集会を毎月開催し、入所者間の交流や生活改善のための意見交換、行事等の連絡周知にも力を入れられている。

子どもが外出する際は、行き先、目的、帰宅時間等の記入を行い、所在を明確にするようにしている。

小人数での職員体制ではあるが、各自が支援の質の向上に向けた意欲を持ち、業務に取り組んでいる。

自立に向けた支援を念頭に苦情解決、相談、意見等があれば積極的に解決や対応を行っている。

毎月、公園の清掃やゴミの判別に参加し、地域住民との交流が図られている。

【改善の求められる点】

中、長期計画を立案されておらず、単年度の計画については行事予定に近い内容であるので、今後、中、長期計画を見据えた単年度の事業計画の立案、及び自立支援の充足が求められる。

実習生の実習内容と施設で行う支援の内容について、時間、対象者に相違があり、実習生受け入れ体制はあるものの、積極的な受け入れはしていない。また、実習生受け入れマニュアルについては明文化されたものはなく、施設の関係資料等を配布し説明している状況である。今後、実習生を受け入れるにあたり、より有意義な実習をしてもらうため、園独自のマニュアル等を整備されて、福祉人材の育成と実習内容の充実に向けた取り組みを期待したい。

安心、安全の支援に対して事故、事件などの未然防止策としてヒヤリハット報告書作成等を検討していただき、職員や利用者へ周知される体制の構築につなげていただくことを期待したい。

第三者評価結果に対する施設のコメント

母子に対する支援体制については、普段から心掛けていることを評価していただきました。しかし、今後取り組むべき事項、改善すべき事項などについて具体的に示していただき、当該施設として見過ごしていたところも多くありましたので、大変参考になりました。改善点については出来ることから積極的に取り組み、支援内容についてより一層の向上に努めていきたい所存であります。また、施設運営の基本的な取り組みである「中、長期計画の立案や安全対策」など不十分な点もお示しいただき、実効性を考慮し地域に貢献できる施設を心掛け、母子生活支援施設として、公平で母子が安心、安全で充実した生活を送れるよう努力してまいります。

第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（母子生活支援施設）

共通評価基準（45項目） 支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
<p>1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>双光園の理念、基本方針は策定され、理念は事務所の出入りに掲示され、利用者や職員に周知されている。特に基本方針は常時、職員が認識できるように記録簿に綴じ、いつでも閲覧できるようになっている。さらに玄関ホールには全国母子生活支援施設協議会の倫理要領も掲示され、利用者や職員への周知に力を入れられている。</p>	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等適切に対応している。	第三者 評価結果
<p>2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。</p>	b
<p>【コメント】</p> <p>唐津市社会福祉協議会が統括し、経営状況の分析、福祉の動向は把握されており、園としての経営を取り巻く経営状況、課題の把握分析は行われていない。今後、把握された情報を基に分析されて支援の内容の充実、経営の維持、改善を取り組まれる事を期待したい。</p>	
<p>3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</p>	b
<p>【コメント】</p> <p>前回の受審後、支援の充足を図るため、人員については事務員が増員された。一方、市の管理施設であるため、施設の建物等の老朽化で施設の設備や専門職員等の充足、財務状況等の問題点に対する対応に苦慮されており、こうした課題については職員にも周知され、市への要望も行われている。今後、園自体の課題に向けて解決改善の取り組みに期待したい。</p>	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
<p>4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>	<p>c</p>
<p>【コメント】</p> <p>5年間(平成29年度～令和3年度)の収支計画書と事業計画書のうち、収支計画書については、平成28年度に作成の唐津市の指定管理者の指定申請書類で確認できる。しかし、事業計画書については、中・長期的なビジョンを踏まえて、年度ごとに目標等を示したものはなく、毎年度の収支計画を実行、実現するための計画策定が望まれる。今後、理念、基本方針に向けた目標を明確化し、実現可能な中・長期計画の策定とともに、実行、評価、見直しが行なわれるよう期待したい。</p>	
<p>5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p>	<p>c</p>
<p>【コメント】</p> <p>法人として計画的な経営が行われているが、園としての中・長期計画は策定されておらず、単年度の事業計画は行事計画であっても実施状況の評価を行える内容とは言いがたい。今後、園として中・長期計画を策定し、そのうえで単年度間で計画を策定される取り組みが必要である。</p>	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	
<p>6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。</p>	<p>b</p>
<p>【コメント】</p> <p>行事等の事業計画や単年度での環境、設備等改善計画作成については職員参画の下、実施されている。また、施設長は唐津市社会福祉協議会が実施する全体会議に参加し、事業計画の評価、見直しを組織的に行っており、その内容については職員に報告し周知されている。一方、行事等の評価、見直すべき事項等は明確に記録として残しておらず、次回の計画に反映され適切に作成される体制づくりを期待したい。</p>	
<p>7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知(配布、掲示、説明等)されている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、母親と子どもがより理解しやすい工夫を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。</p>	<p>a</p>

【コメント】
事業計画や行事等については毎月発行される園便りや母親の自治会、子どもの児童集会で、入所等が適切に理解できるように説明されている。また、伝言、掲示物等については、子どもたちにわかり易いようにルビが打たれていて、イラスト、写真等を多く掲載するようにされており、興味・関心が持てる掲示がなされている。

4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。	
<input type="checkbox"/> 支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	

【コメント】
少人数の職員で運営されているので、通常業務の会話の中で支援に関わる話し合いが行われ、情報の共有がなされている。また、月1回の会議で支援に向けてのPDCAサイクルが行われている。

9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	
<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

【コメント】
評価結果に基づく改善の取り組みについては、職員と共有し計画的に行われている。一方、評価結果を分析し、その結果にもとづく課題等については文書化されていないので、今後の取り組みに期待したい。

施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	
<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	

【コメント】
施設長に関する職務分掌等や施設長不在時の権限委任等については、明文化され職員は周知されているものの、施設長の役割と責任について、ホームページや広報誌等への記載、記録はなかった。施設長の役割や責任について理解、周知を図るような取り組みが求められる。

11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	

【コメント】

法令遵守に必要な研修については施設長自身だけでなく、積極的に職員も参加している。研修後は研修内容や資料等閲覧され周知がなされるようになっている。また、法令集、規約の関連の通知や資料については、管理保管され必要時は取り出して確認ができるように整備、整頓されている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	
(5種別共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	

【コメント】

施設長は積極的に支援の質の向上と自己研鑽に努められている。支援の質の向上のための体制づくりを常に熟考され、職員には指導、助言されている。さらには施設長として外部や法人内の交渉も務められている。

13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【コメント】

施設長は、法人及び委託元の経営方針をよく理解し、経営の改善や業務の実効性向上に努められている。加えて、職員の働きやすい環境を整え、臨時職員等を配置されるなど具体的な取り組みが行われ職員とのコミュニケーションも大切にされて情報の共有、伝達等も図られ環境整備の体制を構築されている。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

第三者
評価結果

14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	
<input type="checkbox"/> 支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	
<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	

<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	
(5種別共通)	
<input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	

【コメント】

母子指導員、少年指導員と事務、日祭日勤務や夜勤の職員等必要な人材の確保は行われているが、当園は障害がある等、多様な課題を抱えた利用者に対して自立支援を行うため、専門的な知識と統括維持した支援が必要である。その為、心理士等専門的な資格を有する職員の採用や人材育成のための体制整備を市や母体法人に要望されている。

<p>15 総合的な人事管理が行われている。</p> <input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。 <input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。 <input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。 <input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	a
---	---

【コメント】

人事管理は唐津市より管理委託されている唐津市社会福祉協議会にて総合的に人事管理されている。施設長は施設の人材確保や育成のため要望や職員の処遇、意向、意見等説明も行われている。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

<p>16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p> <input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。 <input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。 <input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。 <input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。 <input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。 <input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	a
--	---

【コメント】

唐津市社会福祉協議会の就業規則に基づき管理され、施設職員の意向にも配慮し就業の環境整備されている。職員が小人数のため日祭日、夜間勤務は非常勤で対応され、職員処遇改善については事業計画に記載されており力を入れている。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

<p>17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。 <input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。 <input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。 <input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	b
---	---

【コメント】
 唐津市社会福祉協議会において一括し総合的な人事管理が行われており、施設長は施設の人材確保、育成のため要望等行われているものの、職員一人ひとりが設定した目標等の確認については定期的には決まっておらず、今後、適切に職員一人ひとりの目標に関する進捗状況が定期的に確認できる体制づくりが望まれる。

18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】
 唐津市社会福祉協議会において職員の研修、教育が行われている。施設としても計画に沿い積極的に外部研修に参加されている。研修、講習後は職員会議や報告書にて周知が図られており、支援向上にも取り組まれて評価、見直しがされている。

19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	
<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	
(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【コメント】
 人材育成については、事業計画の中に入れられており、県内、県外での研修、情報交換会等積極的に参加促進が図られ、職員の資質向上に努められている。

(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
<input type="checkbox"/> 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
<input type="checkbox"/> 実習生等の支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	
<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【コメント】
 実習生の実習内容と施設で行う支援の内容について、時間、対象者に相違があり積極的な受け入れは行われていない。また、実習生の受け入れ体制のマニュアル等の明文化はされておらず、今後、園独自のマニュアルなど整備されて福祉人材の育成と実習内容の充実を期待したい。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
<p>21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の有存在意義や役割を明確にするように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p>	b
<p>【コメント】</p> <p>当施設の性質上、公開できる内容は限られているが、受託先である唐津市社会福祉協議会のホームページに事業内容等の情報が公開されている。さらに、印刷物や広報誌等により地域や関係機関に向けて施設の理念、基本方針等出来る限りの部分で情報公開し、地域や社会に対して施設の意義、役割等を説明し、福祉の理解と向上のための取り組みを期待したい。</p>	
<p>22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>母体法人の唐津市社会福祉協議会において内部監査が行われている。事務、経理に関する規約、規定は法人で統一し基準があり、それに準じて適切に行われている。</p>	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
<p>23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p> <p>(母子生活支援施設)</p> <p><input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。</p>	b
<p>【コメント】</p> <p>地域との交流を兼ねて隣接する公園等の清掃が行われている。以前は施設の1階ロビーは開放していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防等のため、現在は利用者や職員以外は立ち入り禁止としている。自立後の生活維持において地域との交流がより良い生活へつながる部分もあることから、コロナ感染対策を十分に行い、地域資源を活用しながら交流が深められることを期待したい。</p>	
<p>24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。</p>	c

<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	

【コメント】

利用者のニーズとボランティアの活動内容とが折り合わない事や、ボランティア自体の申し込みもなく、さらには障害を抱えた世帯もあることから、積極的な受け入れは行っていない。今後、施設においてボランティア活動が可能な部分を検討した上で、マニュアル等の整備を行い、唐津市社会福祉協議会と連携したボランティア受け入れの取り組みが期待される。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がいない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【コメント】

支援するにあたり、唐津市関係各課、支援センター、小中学、保育園、児童相談所、地域の民生委員児童委員等と定期的に連携して連絡、支援内容の検討が行われている。各関係機関、団体等ネットワーク化を図り問題解決の体制が構築されている。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	

【コメント】

唐津市社会福祉協議会が地域の福祉事業として福祉ニーズの把握に取り組みが行われている。唐津市社会福祉協議会定期的に連絡、協議を行い、ニーズの掘り起こしや課題検討に努められている。

27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	

【コメント】

唐津市社会福祉協議会として、地域福祉ニーズの把握の取り組みは行っているものの、施設として地域貢献活動等は特に行っておらず、具体的な事業計画にも挙げていない。少人数の職員体制で施設運営を行っているため、実際の地域貢献活動を行うのは容易ではないと思われるが、今後の取り組みに期待したい。

適切な支援の実施

1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果
28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a

<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	

【コメント】

入所時、「双光園のしおり」に母親と子どもを尊重した支援の実施について明記されており、職員は共通の認識をもち支援している。母親や子どもたちは月1回の自治会や子どもらの児童集会で話し合いや勉強会を行っている。玄関ホールには全国母子生活支援施設協議会倫理要領が掲示され基本的人権等も支援状況確認時、職員間でも共有されている。

29 母親と子どものプライバシー保護に配慮した支援が行われている。	a
<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	
<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	
<input type="checkbox"/> 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもにプライバシー保護に関する取組を周知している。	

【コメント】

母体法人の唐津市社会福祉協議会で、プライバシー保護、権利養護等に関する規定、規約が整備されており、施設もそれに基づいて取り組みがなされ、施設内でもマニュアル等も整備されて職員も研修等に参加し理解がなされている。

(2) 支援の実施に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。

30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	
<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	
<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。	
<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	

【コメント】

入所前に施設見学を受け入れており、さらには入所時に「双光園のしおり」や施設内の掲示物を用いて支援の説明がなされている。施設を紹介する資料等は、母子にわかり易いように工夫がされており、母親への就業支援に対しても情報提供を行い、掲示物についても適時、見直し等が行われている。

31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。	b
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う支援について母親と子どもができるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	
<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	
<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【コメント】

支援開始時は支援内容などを説明し母親が納得、了解したうえで実施されている。支援内容の開始、変更時には各関係機関と確認しながら行っているが、母親に理解してもらうために説明等が必要な場合は、立ち合いをお願いし、助言、説明等を加えてもらっている。一方、支援開始や見直し変更時において、母親や子どもの同意を得て支援を行っているが、書面には残していないので、今後は了解したことをサイン等に残す取り組みが必要と考えられる。

32 支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	
<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。	
<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【コメント】

支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されており、他の施設等への意向においても支援の継続性に配慮した取り組みがなされている。一方で、退所にあたり相談窓口、関係機関の連絡先など説明が行われているがメモ程度であり、今後は相談内容別の相談口の連絡先等記載物の資料を手渡すような取り組みを期待したい。

(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。	第三者 評価結果
33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【コメント】

毎月、開催される母親の自治会、児童集會に職員が参加し意見や要望などを聞き検討し改善できるものは対処されて満足の向上を図られている。年2回、母親、子ども別に個人面談が行われ聞き取りが行われケース毎に記録し、支援計画を基に改善が図られている。一方で、把握した結果を分析・検討し、母親、子どもの参画の下での検討会議等は行っていないので、今後の取り組みに期待したい。

(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。	
34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<input type="checkbox"/> 支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	
<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。	
<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	
<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、母親と子どもに必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た母親と子どものプライバシーに配慮したうえで、公開している。	
<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	

【コメント】

自治会や児童集會又職員との会話の中で苦情が言える環境が整備されており、苦情があった際には記録等文書に残している。唐津市社会福祉協議会において第三者委員会も設置されており、施設内にもポスターが掲示されている。

35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。	a
--	---

<input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	

【コメント】

自治会、児童集会で職員等に相談できる環境を整えており、相談内容については秘密厳守することも説明している。また、施設内には周りに気兼ねなく気楽に相談できる談話室を確保されており、職員も自ら声かけし、日常の会話の中でも相談できる環境づくりに力を入れている。

36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	
<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	
<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	
<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【コメント】

苦情などの受付、対応に関するマニュアルは唐津市社会福祉協議会で定められており、それに基づいて対応している。母子の要望、提案書などは施設内で対応できない場合は各関係機関に状況説明、相談して、指示を仰ぎながら対応している。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結果

37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	
<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	
<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【コメント】

施設の設備に関しては、施設長が月1回見廻り、点検が行われている。重大な事故を含む危機管理及び防災のマニュアルについては、明文化され職員に周知されている。また、月1回、職員・利用者による避難訓練が実施されており、年1回は消防署からの指導も受けている。しかし、日常に潜む危険箇所等のヒヤリハット報告や事故分析などは行われていない。再発防止に対する認識の不足が見受けられるため、今後は、母親と子どもの安全安心に向けた情報の蓄積と対応を図られたい。

38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直ししている。	
<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	
<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	

【コメント】
 定期的に施設全体で清掃、害虫駆除が行われており、感染症の予防、発生対策のマニュアルも作成されている。利用者には集会時に集団感染予防対策等の説明を行い、周知徹底されている。さらに、年に2回看護師を講師に招き、母親教養講座を開催し、感染症防止に向けた取り組みに力を入れている。

39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	
<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	
<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	

【コメント】
 自治会で災害時の避難経路の説明や各階に避難経路図や消火器の設置箇所を示した図を掲示し、利用者らに示している。危機管理マニュアルや事業継続計画(BCP)についても定められ、安否確認、緊急連絡網等、職員に周知されている。また、備蓄リストも担当者を決めて整備管理されている。

2 支援の質の確保

(1) 支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。	a
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	

【コメント】
 職務の主、副の担当を定めて定められた関係書類に支援内容、実施などを記録されている。支援について定期的に実施、検討、評価も行われ会議録、日誌にも記録し職員周知の下で支援が行われている。

41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	
<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。	
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	

【コメント】
 母子の意向をくみ取り反映し自立支援計画に基づき支援を行い、定期的に検討会議を開催して検証、見直しを行っている。加えて、緊急時や変更が必要な場合は、各関係機関と検討して変更支援計画書を作成、提出して実施する体制が構築されている。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。	
42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	

<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	
<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な支援の内容等が明示されている。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	
<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。	

【コメント】

年1回、母子と面談し意向の聞き取りを行った上で母子支援員が自立支援計画の策定を行っている。入所時は、入所に至る経緯等を助案し、当面の課題の改善に関して計画が策定されているが期間の定めまでは示されていない。計画を変更する際は、福祉事務所に変更書類が提出されているが、確認の手順等を定めたものはない。支援の過程においては、内容や経過の検証、見直しを定期的に行い、自立支援が妥当か、利用者の意向に添ったものであるか等の確認を行う必要があることから、このような支援体制の確立が望まれる。

43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容（ニーズ）等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

【コメント】

定期的に自立支援計画の評価・見直しを母子の意向も把握しつつ、同意を得るための手順等、組織的に仕組みを定めて実施している。さらに、見直し後の計画をした際は、職員への周知もなされている。支援困難な事例については各関係機関に連絡し助言等を仰ぐ体制を整備している。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	
<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。	
<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	
<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	
<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	
<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	

【コメント】

少人数の職員体制であるため、日々の会話で支援内容、援助方法の検討等がなされており、併せて支援の実施については記録要領に基づき書面で記録され、職員によって差異が生じないように取り組まれており、職員で共有できる体制を整えている。

45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	
<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	

<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	
<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	
<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	
【コメント】 唐津市社会福祉協議会の個人情報規定に基づき、施設長は管理責任者となり書類の保管管理等も行われている。保管も指定場所が決められ、指定場所には施錠を行い、保管書類を廃棄する場合は、施設長自らシュレッダーにかけて廃棄している。	

内容評価基準（27項目）

A - 1 母親と子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 母親と子どもの権利擁護	第三者 評価結果
<p>A1 母親と子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/>母親と子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>母親と子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p>	a
【コメント】 職員には内外の権利擁護などについての研修参加を促し、研鑽できる体制づくりをとっている。さらに倫理要領を作成し、職員に周知している。権利擁護については「双光園しおり」にも記載しており、利用者が入所する際に、職員が丁寧に説明している。職員は人権を尊重した対応に努められ、母子の最善を利益尊重した支援を意識している。	
(2) 権利侵害への対応	
<p>A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を示しながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。</p> <p><input type="checkbox"/>職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。</p>	a
【コメント】 就業規則については唐津市社会福祉協議会の法人規定に基づいており、職員にも周知されている。また、母子に対して、不適切な対応が無いよう職員間でチェックする仕組みづくりをとっている。不適切なかかわり等があれば、聞き取りを行い、事案が確認できた場合は、マニュアルに沿い対応する仕組みを整備している。	
<p>A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもに周知している。</p>	b

	<input type="checkbox"/> 不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為を伴わない人とのかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。	

【コメント】

職員の不適切な関わりが無いように、常に職員は言動に注意するようしており、利用者には自治会、児童集会で不適切な関わりについて説明を行い、注意を促すようにしている。今後、利用者により理解してもらうために、不適切な行為などの事例を分かりやすく紹介したり、パンフレットを用いる等、理解しやすい工夫を行う取り組みが期待される。

A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	
<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識・具体的方法について学習する機会を設けている。	
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。	
<input type="checkbox"/> 常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。	

【コメント】

時々子ども同士の間喧嘩があるがその都度、職員がお互いの意見を聞き、たしなめるなど理解を促している。親子、母親同士のトラブル等が起きた場合は、お互いの話を聞き事実関係を確認して原因究明が行われ、お互いに納得し良好な関係が保たれるよう助言、再発防止の体制づくりがとられている。また、深刻な事案が発生した際は記録し福祉事務所に報告、相談できる体制を整えている。

(3) 思想や信教の自由の保障

A5 母親と子どもの思想や信教の自由を保障している。	a
<input type="checkbox"/> 施設において宗教的活動等を強要していない。	
<input type="checkbox"/> 個人的な宗教活動等は尊重している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの思想や信教の自由については、最大限に配慮し保障している。	
<input type="checkbox"/> 母親の思想や信教によって、その子どもの権利が損なわれないよう配慮している。	

【コメント】

施設では思想、信仰の制限はなく、外部からの勧誘も見受けられない。思想、信仰についてもそれぞれの活動等を尊重している。

(4) 母親と子どもの意向や主体性の配慮

A6 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動(施設内の自治活動等)を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動(施設内の自治会活動等)を母親の理解のもとで実施している。	
<input type="checkbox"/> 子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価するといった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。	
<input type="checkbox"/> 活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。	

	<input type="checkbox"/> 母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく力を養えるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。	

【コメント】

母親による自治会、子どもの児童集会在月1回定期的に開催され、各会で司会、書記を交代で行い自分たちの意見や要望を記して、内容を書面に残している。子どもらの意見、要望については、母親や職員で検討し必要に応じて改善が図られている。

(5) 主体性を尊重した日常生活

	<p>A7 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。</p>	a
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもの自尊心や強みを大切にした支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワメントしていく支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。	

【コメント】

入所者の生活レベルに応じ自立できるよう自立支援計画を策定し、いくつかの選択肢を用意して自立できるように、声かけ、助言されていて、退所後の自立に向けて支援に力を入れられている。

	<p>A8 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。</p>	a
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。	
	<input type="checkbox"/> 母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。	

【コメント】

行事等については、母親、子どもの意見や意向を聞き、内容がマンネリ化しないよう工夫がなされている。今年はコロナ感染症防止により外出事や集団的な行事は見送られているが、以前は工場見学、誕生会、外食等も行われていた。毎回、全員参加され、行事などの様子は写真を掲示しコメントなど添えられ楽しまれている様子が伺い知れる。

(6) 支援の継続性とアフターケア

	<p>A9 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。</p>	b
	<input type="checkbox"/> 退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。	
	<input type="checkbox"/> 退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。	
	<input type="checkbox"/> 退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。	

【コメント】
 退所後の支援については効果的に行えるように、退所する際、退所後の自立支援計画表を作成し関係機関へ提出されている。最近、母親が過度な干渉を嫌う傾向があるため、退所後は関係機関から連絡がある場合のみ訪問や声掛けを行っており、積極的な関わりは行っていない。今後、退所後の支援については施設として可能な限り関わることができる仕組みづくりを検討されることを期待したい。

A - 2 支援の質の確保

(1) 支援の基本		第三者 評価結果
A10 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。		b
<input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。		
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。		
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。		
<input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。		
<input type="checkbox"/> 専門的な支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。		

【コメント】
 母子支援員と少年指導員は個別課題に向けて目標を定め、各関係機関と連携し問題解決に当たられている。利用者の中には、精神的な課題を抱えている者もあり、嘱託医や外部の専門家からの助言を受け対応している事もある。今後、より専門的な支援を行うために、施設として心理士等の専門職員の確保について検討が望まれる。

(2) 入所初期の支援		第三者 評価結果
A11 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。		b
<input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。		
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。		
<input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。		
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。		
<input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。		
<input type="checkbox"/> 身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。		

【コメント】
 入所前に施設の見学や説明が行われており、入所後は、不安を解消するため職員から積極的に声をかけるよう努められている。昭和57年3月の建築で改修も行われていないため、バリアフリー化は行われておらず、身体に障害のある方の利用には支障があるが、今後も改修の予定はない。また、現在の基準は、浴室付きの個室であるが、お風呂は共同浴場を時間を決めて利用されている。市の施設で指定管理でもあるため難しい対応ではあるが、障害のある母親、子どものためにも環境整備の要望等期待したい。

(3) 母親への日常生活支援		第三者 評価結果
A12 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。		a
<input type="checkbox"/> 生活経験に乏しい母親には、職員と共に行うことで経験を補う等の支援を行っている。		
<input type="checkbox"/> 心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。		

<input type="checkbox"/> 必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。	

【コメント】

母親の不在、病気などの場合は買い物支援等を行っている。また、母親や子どもたちへの声掛けの中で食生活の把握を行いながら、必要に応じて献立等の助言を行っている。衛生面については、感染防止や清潔保持のために入浴等の確認を行い、随時声かけ支援を行っている。障害等があり、金銭管理が必要な母親に対しては、退所後の自立支援を考えて、入所中に福祉サービス利用援助事業（あんしんサポート）の利用を促している。

A13 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。	a
<input type="checkbox"/> 母親の育児に関する不安や悩み等の発見に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。	
<input type="checkbox"/> 虐待や不適切なかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。	

【コメント】

母親の不在時や学校の夏、冬休みなどは子どもの見守りや学習室で宿題のチェック等の支援が行われている。学校や保育園からの伝達事項や提出物等について、母親、子どもが理解できるように説明、助言や確認等も行われている。こうした支援を通じて、母親は安心して就労、休養、療養することができている。さらには必要に応じて、唐津市子育て支援課等とも連携し、対応するようにしている。

A14 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなど、関係づくりのための支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 対人関係がうまくできない母親には、母親のベースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。	
<input type="checkbox"/> 社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。	
<input type="checkbox"/> 施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。	

【コメント】

施設では行事等を通じて母親同士、あるいは母親と職員間の良好且つ安定した人間関係の構築ができるような取り組みが行われている。また、母親が対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、必要に応じて主治医や専門機関に相談、助言等を仰ぎながら対応している。

(4) 子どもへの支援

A15 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 放課後の子どもの生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活上必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。	

<input type="checkbox"/> DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立てている。	

【コメント】

施設内には、保育園の設置はないが、徒歩圏内に保育園があり利用している。母親の要望に応じて病院の付き添いや送迎等を行っている。就業時等、母親が不在の場合は、子どもを静養室で見守る等の支援を行っている。施設内の養育・保育に関する記録は整備されており、支援に活用されている。

<p>A16 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。</p>	b
<input type="checkbox"/> 落ち着いて学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。	
<input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。	
<input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。	
<input type="checkbox"/> 子ども一人一人の個別性を重視した相談・支援を行っている。	

【コメント】

談話室兼学習室のコーナーに学習机や本棚が設置され学習の環境が整備されている。学業や進路等の不安や悩みについては、唐津市青少年支援センターと連携した支援体制を構築している。学習指導の要望等は母子からなく学習ボランティアの受け入れは行っておらず、夏休み期間に実習生に短期間のみ宿題を教わる程度である。今後、地域のボランティアや教職員退職者等を活用した支援体制づくりに期待したい。

<p>A17 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。</p>	b
<input type="checkbox"/> 母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。	
<input type="checkbox"/> ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。	
<input type="checkbox"/> 悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。	
<input type="checkbox"/> 自分の気持ちをことばで適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。	
<input type="checkbox"/> 専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。	

【コメント】

新型コロナウイルス感染拡大防止等の感染対策のため、以前は子ども同士で自由に遊べた1階ロビー等を閉鎖しているが、学習室、談話室は職員の見守りの下、十分な感染対策をとり、出来る限り交流の場を設けている。今後は子どもどうしの育ちあう力を活用した、個人の発達・成長や子どもどうしの関係性を養うようなグループワークを取り入れた支援が望まれる。

<p>A18 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。</p>	b
<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。	
<input type="checkbox"/> 職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。	

<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	
<input type="checkbox"/> 年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。	

【コメント】
施設で性に関する学習会は設けていない。年齢や発達状況に応じて個別に職員が対応する場合もあり、性に関する子どもの疑問、不安や質問に対しては日常の会話の中で職員が知識に基づき応じている。今後は、児童相談所、保健所等の外部機関を活用した学習会の取り組み等の検討を期待したい。

(5) DV被害からの回避・回復

A19 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。	b
<input type="checkbox"/> 緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。	
<input type="checkbox"/> 24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。	
<input type="checkbox"/> 役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。	
<input type="checkbox"/> 緊急時対応マニュアルを作成・整備している。	
<input type="checkbox"/> 緊急利用のための生活用品等を予め用意している。	

【コメント】
24時間体制の緊急入所の対応は行っていないが、例外的に行政からの依頼で緊急にごく数日間の一時保護の対応した実績はある。緊急入所を想定していないため、緊急入所対応のマニュアル整備はなく、利用者の緊急時に備えて職員、各機関への連絡網については整備され、夜勤者・日祭日の出勤者にも周知されている。今後の対応として、緊急時の受け入れ体制の検討を期待したい。

A20 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。	

【コメント】
安全確保の支援措置に関しては各関係機関と連絡確認が行われており、職員にも周知されている。また日常の見守りや母親、子どもの居場所確認、個人情報漏洩防止等マニュアルについても整備され職員周知が図られている。

A21 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	b
<input type="checkbox"/> DVについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> DVから脱出することができたことを評価し、安心し安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。	
<input type="checkbox"/> 心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。	

【コメント】
 心理士等の専門職員の在籍はなく、職員がDVに関する研修などで知識を身に付け対応している。対応困難な場合は唐津市、児童相談所と連携しながら支援している。今後、必要に応じて心理療法等を活用しながら、適切な支援を行う体制づくりの検討が期待される。

(6) 子どもの虐待状況への対応

A22 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわり、虐待体験からの回復を支援している。	b
<input type="checkbox"/> 暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。	
<input type="checkbox"/> 子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。	
<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。	
<input type="checkbox"/> 被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。	

【コメント】
 被虐待児に対しては心理士の配置はないため、研修等で学んだ知識をもとに工夫しながら対応している。今後は、医療機関や行政の関係機関の心理士等の活用しながら、より良い専門的な支援が行えるような体制の整備を期待したい。

A23 子どもの権利擁護を図るために、関係機関との連携を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 児童虐待の発生やその疑いがある場合は児童相談所に通報し、連携して対応している。	
<input type="checkbox"/> 被虐待児童に対しては、必要に応じて、心理判定や児童精神科医との相談などの児童相談所機能を活用している。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、福祉事務所や保育所・学校・病院等と情報交換や連携を図り対応している。	

【コメント】
 虐待が疑われる世帯に対しては、見守りや声かけなど行い、子どもの様子を細やかに観察するよう対応されている。子どもの権利擁護の啓発にも努められており、自治会等の際に学習の機会が設けられている。

(7) 家族関係への支援

A24 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	
<input type="checkbox"/> 子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	
<input type="checkbox"/> 家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。	

【コメント】
親子間で感情の行き違い、意見の相違がある場合は職員にて話を聞き、関係修復、理解等が図られている。職員で対応困難な場合は各関係機関等と話し合う機会を設け、対応している。

(8) 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援

A25 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	a
<input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用をするための支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。	

【コメント】
障害や精神疾患等で配慮が必要な母親や子供に対しては、医療機関や行政機関の関係者と情報を共有し、支援が行われている。日常生活での状態の把握や変化を見逃さず、常に適切な支援を行えるように心がけている姿勢がうかがえる。

(9) 就労支援

A26 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	b
<input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 公共職業安定所以外にも、パートバンクや母子家庭等就業・自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親が安心して就労できるように補完保育(残業や休日出勤時の保育等)、病後児保育、学童保育などを行っている。	

【コメント】
母親の心身の状態や能力に応じて公共職業安定所や就労訓練等を利用しながら、就労先の検討が図られている。施設には補完保育等設置されておらず、土日祝祭日に出勤があるような仕事は難しい状況にある。今後は母親が安心して就労できるよう、就労中の子育てを支援する体制づくりが必要と思われる。

A27 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。	
<input type="checkbox"/> 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。	

【コメント】
就労支援が困難な母親については公共職業安定所を通じて、支援に繋げ、自立に向けた支援がなされている。就労についての相談や助言など行い職場と対応や調整も行っている。本人の能力に応じた福祉的な就労についても支援がなされている。今後は就労が困難な要因を抱える母子についても積極的に受け入れ、関係機関と連携しながら支援を行う体制づくりに期待したい。